

教区報

山口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会
編集／広報部

No. 224

2022(令和4)年
1月

CONTENTS

- 年頭のご挨拶 中村祐順
- 別院帰敬式・報恩講
- 各種行事報告／案内
- スクール・ナーランダ開催に向けて
- 別院・教区行事予定



年頭のご挨拶



山口教区教務所長
本願寺山口別院輪番
中村 祐順

謹んで新春のお慶びを申しあげます。新しい年を迎えましても、まだまだ新型コロナウイルス感染症の不安は続いています。ご住職・坊守様、ご門徒の皆様におかれましてはコロナ禍の中、感染防止の対策を取りながらの伝道教化活動にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。引き続き本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

毎年、新年を迎えますと交わされるあいさつが「明けましておめでとございます」です。何がおめでたいのでしょうか。おいしいお酒が飲める、ごちそうが食べられる、私の歳が一つ増えることでしょうか。「めでたい」中身を考えるのが元旦の

お勤めです。浄土真宗においては、一年の始まりにあたり「お念仏を正しく修める法会」として「修正会」をお勤めいたします。去年は悪いことばかりで、今年こそ良いことがありますようにと望みを持つのは自然かもしれませんが、望み通りになった年が今まであったでしょうか。結局、去年の悪いことを忘れ、正月に新しい夢を見る。そんなことを毎年繰り返して、そして歳をとっていくのでしょうか。

ある年、知人からの年賀状に「た。ぎのような言葉が添えてありました。『今年も残すところあと364日です。煩惱に正月休みなし。今年も昨年同様煩惱いっぱいの中で。本年も煩惱いっぱい生かさせていただきます。南無阿彌陀仏』

いのちが永遠であれば、毎年夢ばかり追うのはいいですが、残念

ながら誰でも死を迎えます。しかも、自分がいつ死ぬか誰にもわかりません。自分でも知ることができません。いのちに限りがあり煩惱と共に生きていくことを知り、夢から覚めることが大切です。そうでないといくつになっても「今年こそは」と言いながら、二度と戻ってこない「今」という大切な時を無駄に過ごすことになりす。

不安や苦しみを抱え込んでいる私ですが、南無阿彌陀仏となられて届いてくださった阿彌陀仏のお心を知ったとき、自然に頭が下がり、生かされている事実に気づかされ、喜びの中で生きることができます。

蓮如上人は「あら玉の 年のはじめは 祝とも 南無阿彌陀佛のこゝろわするな」(蓮如上人和歌集成)と仰せです。

お念仏あつてこそその新年が本当の新年です。自分にとって都合のいいことばかり追い求めるのではなく、本来あるべき仏様との関わり方を、今年も一年(あと364日)目指していきましょう。

本願寺山口別院帰敬式

11月25日(木)

本願寺山口別院報恩講を機縁に帰敬式が執り行われ、厳肅な雰囲気の中102名が受式されました。帰敬式とは、阿彌陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮らしを送ることを誓う、私たちにとって大切な儀式です。この帰敬式を受式され、仏弟子となつた方には本願寺ご住職(ご門主)より法名が授与されます。帰敬式を受式し、共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましょう。



御手代 平川正信氏

本願寺山口別院報恩講

11月26日(金)～28日(日)

本願寺山口別院にて3日間報恩講を厳修し、約200人がご参拝

されました。本年は紫藤常昭氏(福岡教区)にご講師をお願いしておりましたが、諸事情により初日に岡村謙英氏(邦西組照蓮寺)、2日目に中村祐順輪番、最終日は溪宏道氏(周南組松巖寺)がご取り組みくださいました。3日間のご出勤は山口雅楽会の皆さま方に帳簿は山口みりの会の皆さま方にご奉仕いただきました。

昨年に引き続き、参拝人数の制限や午後からの速夜法要「大師影供作法」のみの勤修、またマスクを着用したままのお勤めといった感染対策を施しました。コロナ禍やご体調などの理由により、別院へのお参りが適わなかった方の中には、組内寺院の本堂や門徒会館に集まり、オンラインでのお参り

をされたというお話もきかせていただきました。

最初の新型コロナウイルスの感染者が確認されて約2年が経過しました。一時期に比べれば一日の感染者数は減少しましたが(法要当時)、なかなか以前と同じ活動とはまいません。その中で、なんとかご縁に遇っていただきたいとオンラインを活用する教区や寺院が増えてきました。世の中が便利になつていくことに追従して、

いろいろな場所で、さまざまな方がお聴聞できる環境が調いつつあります。ただ、全てをそれに置き換えるわけにもまいません。新たな変異株の発見など心配事は絶えませんが、状況が落ち着けば、是非お寺にお越しいただき、皆でお念仏を慶んでいきたいと思います。



御俗姓拝読

大師影供作法

御伝鈔拝読

連研のための研究会

10月21日(木)

本研修会は志摩田真生氏(福岡教区)を講師に「連研開催の意義(お寺にとって門徒推進員とは)」というテーマで開催され、39名の参加がありました。

この度の研修会では、連研を開催する意義を今一度確認しようということが第一の目的でした。組内寺院の協力無くしては開催できない連研は、一歩目を踏み出すことが大変です。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響により教区内の連研は、ほぼ休止している状況ですが、スタッフの「門徒推進員となりお寺参りや行事に関わることがとても楽しくなりました。この思いを皆に伝えたい。」という強い思いに押され、このテーマでの開催を決めました。



志摩田 真生 氏

連研においては、最初から満点ではなく走りながら変えていく気持ちで始めていくこと、そして講師も参加者も「知らない」「間違っている」と言えることが連研の強みであると助言をいただきました。

連研ノートEには、門徒推進員は「念仏者として自らのめざめと気づきを社会に対しても、僧侶に対しても発信する人」とあります。寺院や教団をただ護持するためだけの存在ではなく、共にみ教えを広めていく仲間です。僧侶(お寺)と門信徒は「人間関係」「つながり」が前提であり、失敗しながらも、それを糧として共に歩むことが連研であり、お寺であるとお聞かせいただきました。

門徒総代会研修会

12月15日(水)

本年度の活動方針である「門徒総代として、自ら聞法にはげみ、念仏者の自覚のもと、寺門の護持発展に寄与する」に基づいて、中村祐順教務所長より「門徒総代に期待すること」と題しましてお話しいただきました。

お話の中で門信徒手帳の中に示されている次の文言をご紹介します。それは、自らが先ず聞法・伝道によって、門徒としての姿勢を確立しなければなりません。同時に、多くの人が聞法・伝道に参加できるように配慮することも門徒総代の重要なつとめです。」このお言葉に基づき、お話しいただきましたことを一部紹介いたします。

- ① 率先して聴聞の場に座りましょう。ご本尊の正面に、門徒総代式章をかけて並んでお聴聞していただくことは、まさに、ご門徒の模範となる姿であり、一番大切な役割であります。
- ② 住職の相談相手になり意見を伝えましょう。また、門徒のみならずのお寺に対する意見や、活動に対する期待や提案などを常に収集しましょう。
- ③ 他のご門徒とも協力して、お寺の情報を発信しましょう。
- ④ 境内や建物の手入れや清掃が整っているか気をつけましょう。

本願寺山口別院

2022(令和4)年 恒例法要・常例法座

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン
結ぶ絆から、広がるご縁へ
-From tying bonds to great encounters-



永代経法要

6月8日(水) 9日(木) 10日(金)

◆午前10時～ ◆午後1時～

福岡教区 志摩組 海徳寺

松月 博宣氏

報恩講

11月25日(金) ◆午後1時20分～
帰敬式

26日(土) 27日(日) 28日(月)

◆午前10時～ ◆午後1時～

佐賀教区 三根組 徳常寺

塚本 慈顕氏

1月5日(水)
午前10時～

元旦会

本願寺 山口別院 **輪番**

5月5日(木)
午後1時30分～

降誕会

防府組(防府市)妙玄寺

神保 信正氏

常例法座 毎月5日・午後1時30分～

2月5日(日)

豊田組(美祇市)正法寺

白石 智昭氏

3月5日(日)

防府組(防府市)萬行寺

安間 宣秀氏

4月5日(火)

白滝組(下関市)念西寺

中山 浩司氏

6月5日(日)

山口南組(山口市)蓮光寺

岡本 達美氏

7月5日(火)

邦西組(下関市)照達寺

岡村 謙英氏

8月5日(金)

下松組(下松市)勝賢寺

森田 義見氏

9月5日(月)

周南組(周南市)松巖寺

溪 宏道氏

10月5日(水)

美祇東組(美祇市)明嚴寺

中島 昭念氏

11月5日(日)

下関組(下関市)願久寺

田中 博明氏

12月5日(月)

宇部北組(宇部市)明山寺

山名 学道氏

本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

期間：2022.1.1～2022.4.30

期日	氏名	期日	氏名
1月 1日～10日	輪番	2月 1日～10日	松浦 成秀
11日～20日	石田 敬信	11日～20日	中山 信知
21日～31日	藤本 弘信	21日～28日	金安 一樹
3月 1日～10日	安部 智海	4月 1日～10日	中山 教昭
11日～20日	宗本 尚瑛	11日～20日	佐々木世雄
21日～31日	川越 広慈	21日～30日	波佐間正弘

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

スクール・ナーランダ開催に向けて

実行委員会 運営部部长 香川 大

いよいよ来年2月12・13日に本願寺山口別院で開催予定の「スクール・ナーランダ山口」の本番が迫ってまいりました。

そんな中、去る11月21日に山口別院にて、チームナーランダ山口のメンバーと僧侶スタッフとが集まり、宗派子ども・若者ご縁づくり部会の藤田圭子さんと南莊摂さんをお迎えしてスクールナーランダ・ファシリテーション研修会を開催いたしました。

最初に5〜6名のグループに分かれて、アイスブレイク(参加者の緊張をほぐし、話しやすい場を作るためのもの)を2種類行い、その後に「ファシリテーションとは?」というテーマで藤田さんが講義をしてくださいました。ファシリテーションとは、「しにくいこと」を「しやすくする」という意味で、スクールナーランダでは参加者



藤田 圭子 氏

とのトークディスカッションをしやすいするために大切なスキルです。討論や議論をするのではなく、あくまで対話を重要視して、聴く事と話す事のバランスをできるだけ5・5に近づけていく事を目指してほしいと仰っておられました。

アクティブリスニングの練習では、話を聞く側の姿勢も非常に重要で、うなずくことや笑顔で接すること、沈黙を大切にすることなどを教えていただき、相手からの話を引き出す力や聞き出す力を勉強することができました。

その後、南莊さんの進行で、実際にグループに分かれ、ファシリテーションの練習を行いました。トークテーマは『チームナーランダに参加して感じたこと、気づいたこと、得られたこと』『どんなスクールナーランダにしていきたい?』『スクールナーランダに関して、今不安に思っていること』に関して、10分毎にファシリテーターを交代し、それぞれの良かった点や、感想を共有しました。

スクールナーランダの本番ではチームナーランダ山口のメンバーが中心となり、各グループに分かれて、当日参加される方がたとのグループワークでのファシリテーションを行います。その意味でも、今回の研修は大変有意義なものとなりました。



南莊 摂 氏

た。

コロナ禍の影響で、一同に集まることもできない状況がずっと続いておりましたが、この度、初めて顔合わせも含めた研修を行うことができ、メンバー一人ひとりの意識やモチベーションも高まってきており、いよいよ本番が楽しみになってきております。

どうか引き続き山口教区の皆さまにも、温かいお力添えをお願い申し上げます。






「山口雅楽会」特別法要

雅楽並びに勤式作法の研鑽と普及に励む僧侶たちが集う「山口雅楽会」による特別法要。雅楽と声明の音色、お香の香り、厳かに荘厳された空間を体感する貴重な機会。雅楽器、お香、お袈裟など仏具や作法を体験するワークショップも。

「徳地和紙」漉きと「和綴じ本」制作ワークショップ

鎌倉時代初期、東大寺の高僧により山口に伝えられたとされ、800年以上の歴史を持つ「徳地和紙」。徳地地区で育てた天然の素材を使った質の高い和紙づくりを手がける職人に学ぶ、紙漉きと和綴じ本制作ワークショップ。

山口の食を楽しむ。「瓦そば」と「精進スタイルランチ」

ナランダでは、その土地ならではの美味しいものを昼食にご用意。今回は熱した瓦の上に茶そばと具を載せた、山口県を代表するソウルフード「瓦そば」と、家庭精進料理研究家・MAKIさんによる山口の野菜をたっぷり使った創作精進料理です。

お申し込みは右記 QR コードから

※申込み締め切り

2022年2月7日(月) 正午



別院・教区行事

Calendar of events from January to March, including dates, event names, and locations like '山口別院'.

17日(木) 山口教区仏教婦人会連盟実践運動研修会
講師/荻 隆宣氏(大津東組浄土寺)
金子淳子氏(金子小児科院長)

敬 弔

生前のご遺徳を偲び、謹んで敬弔の意を表します

令和3年9月~11月

敬称略

- List of names and dates for memorial services, including 萩組 浄國寺 前坊守, 熊毛中組 善福寺 衆徒, etc.

- List of names and dates for memorial services, including 山口北組 信行寺 前坊守, 熊濃組 長圓寺 坊守, etc.

本願寺山口別院仏前結婚式

新郎 田中 宏明さん
新婦 西嶋 梨江さん

ご結婚おめでとつございます。

編集後記

感染が収まりかけた昨年末、オンラインでしか話をしていない方々と会った。驚いたのは、自分が想像していた人物像と大きく異なっていたことだ。自分勝手なバイアスをかけて相手を見ていた私。虚妄分別の身を忘れるなどのお示しようだ。

本願寺山口別院・山口教区教務所

〒七五四一〇〇三二 山口県山口市小郡花園町三番七号
TEL〇八三(九七三)四一一一 FAX〇八三(九七三)四六三二